



福岡医発第 1855 号 (地)

平成17年 1月14日



各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 竹 嶋 康



平成16年度 (第33回) 福岡県医師会精度管理調査結果研修会
の開催について (ご案内)

厳寒の候 貴職益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

本会では、県下の公・私立病院、診療所、保健所、登録衛生検査所の臨床検査室による日々の成績がどれくらいの信頼度か、また過去の値と比較してどうであるかなど、県下の臨床検査精度をなべて高めることを目的として、昭和47年より臨床検査精度管理調査を毎年実施しておりますが、この度、本年度の調査結果発表を兼ねた研修会を別紙日程のとおり開催いたします。

つきましては、貴職より平成16年度 (第33回) 精度管理調査への参加の有無にかかわらず、本会精度管理調査のあり方と、調査結果を中心とした各施設それぞれの問題点の解明とその解決法、更には県下の検査値統一化を目指しております本会の姿勢等につきましてもご理解を賜りたく、各施設長並びに臨床検査技師各位が多数この研修会にご参加下さいますようご高配願います。

なお、

- 1) 別紙のとおり各関係機関には本会より直接ご案内申し上げます。
- 2) 平成13年度より福岡県医師会臨床検査精度管理調査を、県内施設一括して九州臨床検査精度管理調査に参加して行うことになり、研修会当日の午前中は別紙日程のとおり九州臨床検査精度管理調査報告会が開催されますので、併せてご出席いただきますようご案内申し上げます。
- 3) 調査参加施設の調査結果は、午後から開催いたします本会の調査結果研修会の受付でお渡しいたします。
- 4) 別添用紙により出欠の有無を折り返しFAXでご連絡いただきますようお願い申し上げます。
- 5) 駐車場に限りがございますので、お車でのご来場はご遠慮願います。
- 6) 本会では、平成8年より検査値の施設間格差をなくし、更に有効利用されることを目的とした「検査値標準化」のプロジェクトを立ち上げ積極的に推進いたしております。

福岡県医師会精度管理調査の目標値の「値付け」は五病院会 (九州大学病院・福岡大学病院・福岡大学筑紫病院・久留米大学病院・産業医科大学病院・飯塚病院) で行っていますが、その基礎になるのは、認証標準物質 (CRM) または常用酵素標準物質 (ERM) を用いて確認したものです。従って全国に通用する検査値になっていますので、別紙 [福岡県医師会共通基準範囲] をご使用いただいてないようでしたら、今後は是非、[福岡県医師会共通基準範囲] ご使用いただきますよう貴職よりご高配いただきますようお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

担当理事 毛利康茂



平成16年度（第33回）福岡県医師会精度管理調査結果研修会日程

△と き 平成17年2月20日（日）14:00～16:30

△ところ 九州大学百年講堂 Tel 092-642-6030

福岡市東区馬出3丁目1-1 九州大学病院内

1. 開 会
2. 挨拶
3. 教育講演 (14:05～14:25)

「臨床検査精度管理の潮流。日本と世界。」

講 師：九州大学大学院医学系臨床分子医学教授

濱 崎 直 孝

座 長：福岡県医師会理事

宮 崎 良 春

4. 精度管理調査報告 (14:25～16:30)

座 長：福岡県医師会臨床検査精度管理委員会委員長

九州大学大学院医学研究院臨床検査医学教授

濱 崎 直 孝

- 1) 「グルコース、無機リン、HbA_{1c}について」

福岡大学病院臨床検査部 井 本 祐 司

- 2) 「総コレステロール、HDLコレステロール、中性脂肪、ヘモグロビンについて」

浜の町病院臨床検査部 大 石 潔

- 3) 「尿素窒素、クレアチニン、血清鉄について」

九州厚生年金病院中央検査室 名 川 和 代

- 4) 「尿酸、アミラーゼ、コリンエステラーゼについて」

久留米大学病院臨床検査部 石 原 宏 朗

- 5) 「血清蛋白、蛋白分画について」 飯塚医師会検診検査センター 合 屋 明 美

- 6) 「総ビリルビン、AST、ALTについて」

福岡市医師会臨床検査センター 今 駒 憲 裕

- 7) 「LDH、ALP、CRPについて」産業医科大学病院臨床検査部 池 田 勝 義

- 8) 「CK、GGTについて」 聖マリア病院臨床検査部 古 賀 正 久

- 9) 「ナトリウム、カリウム、クロール、カルシウムについて」

麻生飯塚病院中央検査部 中 島 久美子

- 10) 「IgG、IgA、IgM、C3、C4について」

九州大学病院検査部 服 部 幸 子

- 11) 「HBs抗原、HCV抗体、梅毒血清反応について」

久留米大学病院臨床検査部 豊 田 尚 子

- 12) 「PT、APTT、Fbgについて」 九州大学病院検査部 栗 原 正 子

- 13) 「血液型について」 福岡大学病院臨床検査部 川 島 博 信

- 14) 「尿検査について」 福岡大学病院臨床検査部 平 野 純 子

- 15) 「免疫学的測定法について」 久留米大学病院臨床検査部 梶 村 克 成

- 16) 質疑応答及び総括

5. 閉 会

第33回（平成16年度実施分） 九州臨床検査精度管理研究会 御案内

謹啓 貴施設に於かれましては益々ご盛昌のこととお慶び申し上げます。

さて、臨床検査の精度の向上を目的として発足致しましたこの研究会も、今年度で第33回を迎えるまでになりました。これもひとえにこの研究会の主旨をご理解頂き、参加して頂きました各施設の皆様のご協力があったることと、心から感謝いたしております。

昨年9月に実施致しました精度管理調査では、免疫血清、生化学、尿、血液凝固、微生物、輸血（不規則抗体）についてサーベイを実施致しました。それらの結果集計が出来ましたのでお送りいたします。

これらの資料を基に更に解析を加え、その結果の発表と参加された皆様との討論会を下記日程で開催致しますので、万障お繰り合わせの上ご参加頂きますようご案内申し上げます。

敬具

平成17年1月15日

九州臨床検査精度管理研究会
会 長 濱 崎 直 孝

記

日時 平成17年2月20日（日曜日）
午前 9時00分～13時00分

場所 九州大学医学部 百年講堂
福岡県福岡市東区馬出3-1-1
電話 092-642-6257

・免疫血清及び生化学部門発表会

於： 大ホール 9：00～11：50

・微生物部門発表会

於： 中ホール3 10：00～11：50

・特別講演Ⅰ

於： 大ホール 11：10～11：50

・特別講演Ⅱ

於： 大ホール 11：50～12：30

※尚、当研究会は九州臨床衛生検査技師会生涯教育研修会です。

※病院の駐車場は患者様のための駐車場です、公共交通機関をご利用ください。

第33回九州臨床検査精度管理研究会プログラム

◎免疫血清・生化学部門 (於 九州大学 百年講堂 大ホール)

開会挨拶 日水製薬(株) 松尾 博

会長挨拶 九州大学 濱崎 直孝

1 免疫血清部門 司会 長崎大学 上平 憲
国立長崎医療センター 河野 義彦

1) E I A	福岡大学筑紫病院	篠原 克幸
2) 免疫グロブリン, 補体価, C R P	諫早総合病院	今里 和義
3) 梅毒, H B s, H C V	鹿児島大学	佐藤 香奈子
4) 輸血 (不規則抗体)	大村市立病院	福田 肇
質疑応答		

2 生化学部門

司会 久留米大学 石原 宏朗
飯塚病院 中島久美子

1) 尿	福岡大学	山下 孝明
2) 血液凝固	九州大学	柏森 裕三
3) H b A 1 c	福岡大学	井本 祐司
4) H D L	大分大学	和氣 智徳
5) B U N	佐賀県立好生館	出 美規子
6) A L B	国療宮崎東病院	鬼塚 聖子
7) D - B I L	熊本中央病院	竹下 久子
8) A L P, γ - G T P	琉球大学	金城 徹
9) C K	長崎大学	一瀬 博
10) F e	九州大学	豊福美津子
11) A M Y, C H E	久留米大学	石原 宏朗
12) C I	長門記念病院	濱野 貴磨
13) L D	産業医科大学	池田 勝義

今年度の総括 産業医科大学 池田 勝義
質疑応答

特別講演 I 司会 産業医科大学 大田 俊行

「測定法の標準化と検査データの共有化」

講師 九州大学 大澤 進

特別講演 II 司会 久留米大学 佐川 公矯

「温泉施設を原因としたレジオネラ菌の集団発生」

講師 宮崎大学 岡山 昭彦

◎ 微生物部門 (於 九州大学 百年講堂 中ホール 3)

1 配布試料のデーター解析

1) 試料No. 25	司会 長崎大学	松田 淳一
試料No. 26	公立玉名中央病院	永田 邦昭
試料No. 27	国立小倉病院	横溝 勝
2) 薬剤感受性	国立都城病院	斉藤 宏
質疑応答	琉球大学	仲宗根 勇

2 講演

特別講演 II (九州大学 百年講堂 大ホール) を聴講して下さい。

FAX送付先：福岡県医師会、地域医療課 宛

FAX番 号：092-411-6858

平成16年度（第33回）福岡県医師会精度管理調査結果研修会について

I. 平成16年度（第33回）福岡県医師会精度管理調査結果研修会

△と き 平成17年2月20日（日）14：00～16：30

△ところ 九州大学百年講堂（九州大学病院内）

① 御出席

出席者氏名	医療機関名	[福岡県医師会共通基準範囲]使用の有無 ※○で囲んで下さい。	使用していない理由をお書き願います。
		使用している 使用していない	
		使用している 使用していない	
		使用している 使用していない	
		使用している 使用していない	

② 御欠席

II. 九州臨床検査精度管理調査報告会

△と き 平成17年2月20日（日） 9：00～12：30

△ところ 九州大学百年講堂（九州大学病院内）

① 御出席

出席者氏名	医療機関名	[福岡県医師会共通基準範囲]使用の有無 ※○で囲んで下さい。	使用していない理由をお書き願います。
		使用している 使用していない	
		使用している 使用していない	
		使用している 使用していない	
		使用している 使用していない	

② 御欠席

※出席者多数の場合はコピーして御使用下さい

郡市医師会名

医師会

福岡県医師会共通基準範囲

臨床化学検査値 23 項目

項 目	範 囲	単 位	項 目	範 囲	単 位
TP	6.7～ 8.3	g / dl	TG	M38～207	mg / dl
ALB	4.0～ 5.0	g / dl	TG	F 30～137	mg / dl
BUN	8 ～ 22	mg / dl	グルコース ^{・1}	69～104	mg / dl
クレアチニン	M0.6～ 1.1	mg / dl	グルコース ^{・2}	80～112	mg / dl
クレアチニン	F 0.4～ 0.7	mg / dl	AST	13～ 33	U / l
UA	M3.6～ 8.0	mg / dl	ALT	M 8～ 42	U / l
UA	F 2.3～ 5.5	mg / dl	ALT	F 6～ 27	U / l
TB	0.3～ 1.5	mg / dl	ALP	115～359	U / l
Na	138 ～146	mmol / l	LD (L)	119～229	U / l
K	3.6～ 4.9	mmol / l	LD (P)	261～483	U / l
Cl	99 ～109	mmol / l	CK	M62～287	U / l
Ca	8.7～ 10.3	mg / dl	CK	F 45～163	U / l
IP	2.5～ 4.7	mg / dl	アミラーゼ	50～159	U / l
TC	128 ～256	mg / dl	ChE	107～233	U / l
HDL-C	41 ～ 96	mg / dl	GGT (γ GT)	10～ 47	U / l

・¹ブレーン管 ・²解糖阻止剤入採血管

病態識別値を付記する項目

項 目	範 囲	単 位	根 拠
TC	128～ <u>220</u>	mg / dl	日本動脈硬化学会コンセンサスカンファランスより
TG	30～ <u>150</u>	mg / dl	
TB	0.3～ <u>1.2</u>	mg / dl	体質性黄疸の鑑別上
UA M	3.6～ <u>7.0</u>	mg / dl	日本プリン・ピリミジン代謝学会コンセンサスカンファランスより
F	2.3～ <u>7.0</u>	mg / dl	
ALT	6～ <u>30</u>	U / l	病理学的所見上

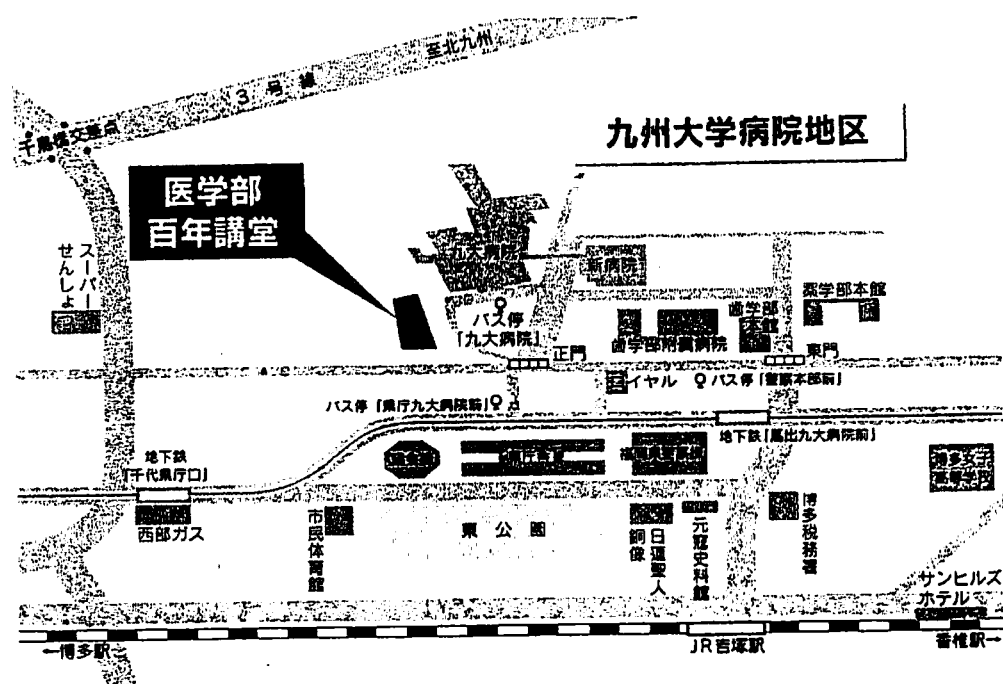
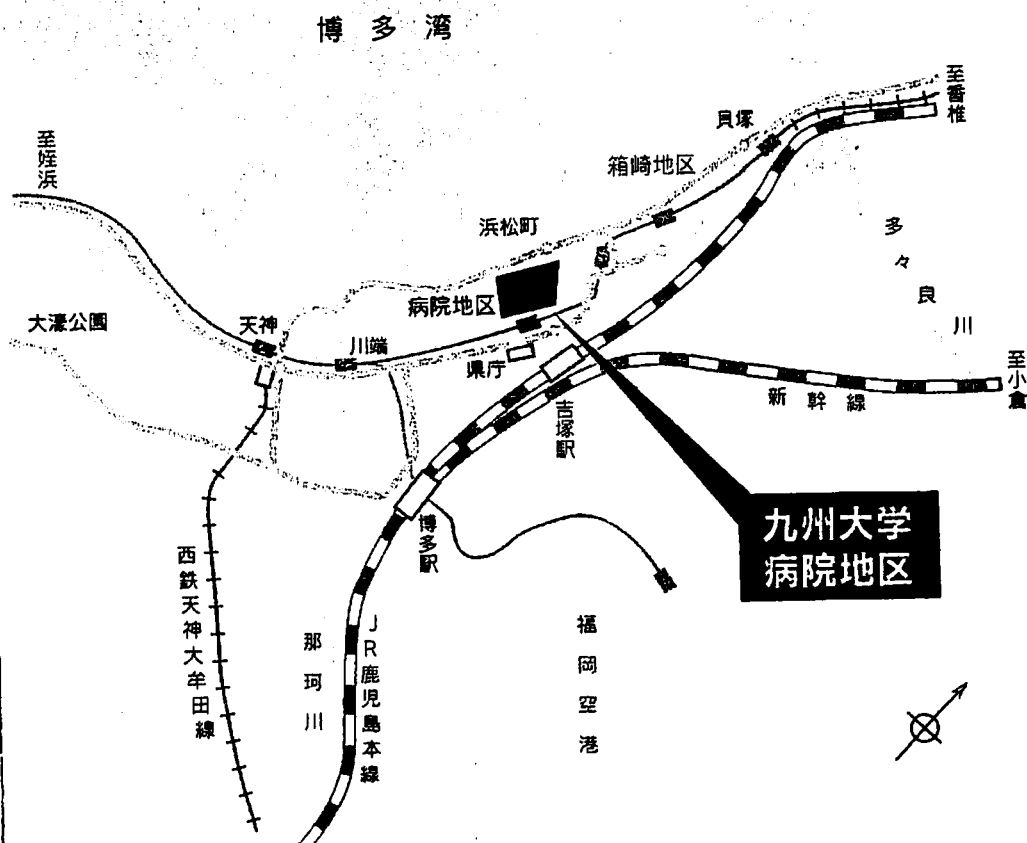
(福岡県五病院会設定)

(高齢者用基準範囲 参考文献)

豊福 美津子 他：外来患者データを用いた高齢者年齢別基準範囲の推定

臨床病理、第47巻第2号、P165～169、1999

九州大学医学部百年講堂交通案内図



百年講堂への交通機関

地下鉄2号線	馬出九大病院前下車	徒歩8分
J R 線	吉塚駅下車	徒歩15分
西鉄バス	県庁九大病院前下車	徒歩5分
	(1・7・9・12・13・14・29・52・59・61・62・161)	
	九大病院下車	徒歩1分
	(10・51)	